

ご寄付 善意のご寄付をいただきありがとうございました

- ・静波キャンプグラウンド 様 5,000円
- ・相良高等学校 様

賛助会費にご協力ありがとうございました。

- ・ニュージャパンヨット(株) 様 20,000円

第2回ひとり暮らし高齢者 ふれあい食事会

70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に食事会を開催します。皆さんと楽しい時間を過ごしませんか？

地区(会場)	日時	申込締切
相良地区(い〜ら)	12月3日(水)	11月19日(水)
榛原地区(さざんか)	12月5日(金)	11月21日(金)

- 【対象者】70歳以上のひとり暮らし高齢者
- 【定員】両地区50名(定員になり次第締切)
※送迎あります
- 【申込先】申込書を、社協に提出(FAX可)または電話にて申し込んで下さい。

※申込書には1週間前後までにハガキで時間等ご案内します。
※申込書は各地区の民生委員児童委員さんまたは社協窓口までお声かけ下さい。



のびのび子育て井戸端会議

- 【日時】11月18日(火) 10:00~11:30
- 【会場】萩間公民館
- 【内容】おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に人形劇を観よう!(講師 茶問屋ショーゴ)
- 【申込み・問合せ】☎相良事務所 52-3500

申込み不要

ラッキーパーティー参加者募集

- 【日時】12月19日(金) 18:30~21:00
- 【会場】ヴィヴァーチェ(牧之原市細江200-10)
- 【応募条件】2名~3名のグループ(20~30歳代の独人男女各10名)
- 【参加費】男性4,000円 女性2,000円(当日集金)
- 【申込方法】申込書にご記入の上、社協に提出(FAX可)
- 【締切】11月17日(月)
- 【問合せ】相良事務所 ☎52-3500 (FAX52-5585)
申込用紙は社協窓口及びホームページからダウンロードできます。

- 【応募方法】履歴書を郵送または持参
- 【受付期間】10月15日(水)~11月10日(月) 必着
- 【試験】筆記問題(教養問題)・作文・面接
- 【詳細】当社ホームページに掲載
- 【問合せ】相良事務所 ☎52-3500

正規職員採用試験(平成27年4月1日採用)

- 【業務内容】社会福祉協議会業務(総合職)
- 【募集人数】2名以内
- 【応募条件】社会福祉士または社会福祉士受験資格者

第3回介護者のつどい「簡単に栄養のある料理を作ろう」

高齢者でも食べやすく、簡単でおいしい食事を作り、楽しく食事しながら話をしましょう。

- 【日時】12月6日(土) 9:00~13:30
- 【場所】健康福祉センターさざんか 2階 栄養室
- 【対象者】牧之原市在住で、在宅で介護されている方。また、これまで介護を経験された方、将来的な介護に不安を感じている方。

- 【定員】20名
- 【申込先】地域包括支援センターオリーブ ☎22-8822 (大石・筒井)
地域包括支援センターさがら ☎53-1900 (大石美・大石将)

法律相談 (弁護士・行政相談員・人権擁護委員)
【会場】市民相談センター(☎23-0088)
【日時】11月5日(水)、19日(水) [第1・第3水曜日]
【時間】(10:00~15:00)
※受付は当日8:30~(先着8名)となります。(電話予約のみ)

心配ごと相談 (民生委員・司法書士)
【会場】市民相談センター(☎23-0088)
【日時】11月12日(水)、26日(水) [第2・第4水曜日]
【時間】9:00~11:30

福祉総合相談・ボランティア相談
【会場】相良事務所
【日時】毎週月~金曜日
【時間】8:15~17:00

貸付相談
【会場】相良事務所、榛原事務所
【日時】毎週月~金曜日
【時間】8:15~17:00
※貸付を受けるには条件があります。(資金によって貸付までの日数が異なります)

障がい者の生活相談 毎週月~金曜日(8:15~17:00)
【問合せ】生活支援センターつばさ(☎53-2610(相良地区))
生活支援センターやまばと(☎29-0223(榛原地区))

在宅介護(介護機器)相談
【問合せ】地域包括支援センターさがら(☎53-1900(相良地区))
地域包括支援センターオリーブ(☎22-8822(榛原地区))
※お電話は24時間受け付けます。



社会福祉法人 牧之原市社会福祉協議会(略称「社協」)

第108号

平成26年10月発行

ふくしだより

ふくしだよりはみなさまからいただいた会費と赤い羽根共同募金で発行しています(再生紙)

【問合せ】牧之原市社会福祉協議会
〒421-0524 牧之原市須々木140番地
(牧之原市相良総合センター1〜5階内)
TEL0548-52-3500
FAX0548-52-5585
E-mail:csw-sagar@po2.across.or.jp

みんなの描く福祉作品コンクール審査結果発表

次ページにて各賞受賞者を発表!▶▶▶



図工の部

最優秀賞

心あたたか石ころアート
相良小学校 6年 酒井優さん

作文の部

最優秀賞

「幸せと喜びを
この町に」
細江小学校 6年 大石一乃さん

私が四年生の時、福祉の勉強をした。最初は、福祉って何だろうと思っていただけで、今では福祉と聞くことすべし、「幸せ」、「平等」、「笑顔」という言葉が思いつく。そして、私たちが住んでいるこの町は、すばらしいと思う。障害者やお年寄りが生活しやすいように、犬を訓練させたり、手話を覚えたり、階段のところにスロープをつくらしたり、バスや電車に、ゆうせん席をつくらしたりして、まわりのことを思っているんだと思う。そういう思いやりで、お年寄りたちが笑顔になれると思う。

福祉の勉強で、老人ホームへ行くことになった。班でいろいろ計画を立てて、老人ホームにいるおじいちゃんやおばあちゃんたちと遊んだ。私の班といっしょに遊んだ、一人のおじいちゃんが、物を投げたり、落としたり、さげんだりして、手におえなかった。すると一人の介護福祉士さんが来て、そのおじいちゃんを何かをしている。しばらくすると、そのおじいちゃんは安心したのが静かになり、私たちといっしょに遊んでくれた。その時、私はあの介護福祉士さんが、かっこいいなあ、思った。そして、この老人ホームはこのようなたちにとって、大切な場所であり、安心できる場所なのだと思う。

私は、片づてをなくした少女などの、体のパーツをなくした人のことを、テレビで見たことがある。

「まわりの人から変な目で見られても、気にしない。」と、言っているが、もし、それが私だったら外に出たくなる気がする。それでも、家族や友達の支えがある、気にかかるとなく外に出られると思う。だから、そういう人たちにとって、「支え」という言葉は、大切な物だと思う。困っている人がいたら助ける。誰にでもやさしく、笑顔で接する。など相手のことを考えて行動することが大切だと思う。いつか私も、老人になるから、自分がされてうれしいことをすると、相手は笑顔になれる。幸せ、喜びは、みんな支え合って生まれてくると思う。だから、私は大きくなったら、たくさん人の支えになりたい。

たくさんのご応募いただきありがとうございました。

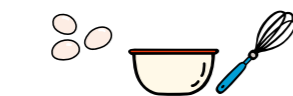
福祉作品を通じて、子ども達の豊かな心を育てることを目的に、市内各小学校のご協力のもと、みんなの描く福祉作品コンクールを実施しました。その結果、作文24点、図画95点と多数のご応募をいただきました。図画の部では、丁寧に描かれており、子ども達の優しさが伝わってくる作品ばかりでした。作文の部では、子ども達の福祉体験や福祉に対する思いを垣間見ることができました。

10月20日(月)～24日(金)の期間中、相良総合センターい～らにて展示いたしますのでお気軽にお越し下さい。

作文の部 (敬称略)				図画の部 (敬称略)			
賞	学校	学年	氏名	賞	学校	学年	氏名
最優秀	細江小	6	大石 一乃	最優秀	相良小	6	酒井 優
優 秀	相良小	5	加藤 侑楓	優 秀	牧之原小	1	石川 咲希
佳 作	相良小	2	河原崎 百恵	〃	坂部小	3	板倉 未奈
〃	牧之原小	6	坂本 涼平	佳 作	片浜小	1	大石 聖也
〃	相良小	6	大畑 龍平	〃	相良小	5	河村 真琴
				〃	相良小	5	杉山 涼太
				〃	相良小	6	鈴木 このは
				〃	地頭方小	6	櫻井 美月
				〃	細江小	6	吉田 有希

勝間田楽らく倶楽部クッキング

9月9日に勝間田楽らく倶楽部にて、楽らくクッキング(お菓子づくり)を行いました。扇松堂さんにご指導いただきながら、「あわゆきかん淡雪羹」「くりしぐれ栗時雨」作りに挑戦しました。グループで交代をしながら卵白を泡立てたり、あんこを包んだりと協力しながら和気あいあいと作りました。



日常生活を振り返りました

9月2日サロン協力員講習会を開催し35名が参加しました。当日は、地域包括支援センターさがらの増田看護師に“私たちの心と身体の変化について”と題して、高齢者に起こりやすい身体疾患や生活の変化から起こる認知機能低下のきっかけ、介護予防のポイントなどを伝えてもらい、そのなかで、生活の変わるきっかけとなるエピソードやその前後の生活の様子を見守るポイントを協力員ボランティアの方達と確認しました。

ボランティアの方からは「介護保険法改正にあたりこれからどのように変わっていくの？サロンに来ている人は息子夫婦と住んでいるけど、活動中ポーッとされていて心配」など活発な意見があり、地域の見守り体制をより身近に感じた時間となりました。

今回は、11月5日(水) 13:30～15:00

【会場】相良総合センターい～ら

【内容】ミニ講話 ～知ってる？私たちの地域のこと～
「冬におすすめレクリエーション紹介
～エコバッグづくり～」です。ご参加お待ちしております。

【持ち物】のり・ホッチキス・新聞紙4枚(カラー印刷のところがあるとキレイに仕上がります。)



各地域のサロン活動の様子

まるでお祭りさわぎ！！

9月12日、市内8施設の障がい児・者、約250名が集まり福祉施設交流会を開催しました。エレクトーン演奏、パン食い競争、班交流会を行いました。エレクトーン演奏では、「アナと雪の女王」を大合唱して大盛り上がりでした。パン食い競争では、焦るあまりパンがゆれてしまい、なかなか取れず苦戦していましたが、全員無事ゲットできました。班交流会では、他施設の方と久しぶりに会ったので、あちらこちらで笑い声が聞こえました。今年も楽しい時間を過ごすことができました。



おじいちゃん、おばあちゃんと笑いヨガ

9月16日、B&G海洋センターにてのびのび子育て井戸端会議を行いました。今回は、講師に石神先生をお招きして「ほのぼの会」のおじいちゃん、おばあちゃんにも参加していただきました。さまざまなヨガポーズをとり、心と体が幸福で満たされることができました。笑うことは心にも体にも良く、自分だけではなく周りの人も幸せな気持ちになるということで、いっぱい笑いしました。



平成26年度歳末援護事業「歳末慰問金」のお知らせ ～歳末たすけあい募金配分金事業～

市民の皆様から寄せられる歳末たすけあい募金を活用し、支援を必要としている世帯に対して、新たな年を迎える時期に安心して暮らせるよう、「歳末慰問金」を贈呈します。

【対象】平成26年10月1日現在、牧之原市に在住で、平成26年度の世帯員全員の住民税が非課税であり、以下のいずれかに該当する世帯。(ただし、生活保護世帯・施設入所者は除く)

- ①障がい児・者のいる世帯(身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかに該当する世帯)
- ②高齢者世帯等で、著しく生活にお困りの世帯
- ③母子世帯、父子世帯で、著しく生活にお困りの世帯

【金額】一世帯5,000円(※ただし、募金実績と対象世帯数により金額の増減があります)

【申請書配布場所】①社会福祉協議会窓口(相良事務所または榛原事務所) ②各地区の民生委員児童委員

【申請方法】申請書に必要事項を記入し、添付書類を添えてご提出下さい。

【提出方法】①社会福祉協議会窓口へ提出 ②民生委員児童委員を通じて提出

【受付期間】10月20日(月)～11月25日(火)

【対象者の決定】申請書をもとに、社協事務局で審査を行います。

【贈呈方法】担当地区民生委員児童委員が、12月にお届けします。

【問合せ】相良事務所 ☎52-3500

